

(平成30年4月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向) 水 産 物 全 般	4月の水産物の総入荷量は、よこわやさわらなどが前年同月に比べ、大幅に下回ったこともあり、鮮魚、冷凍魚、加工水産物ともに総じて減少し、全体では4%下回った。 総取扱金額は、前年同月と比べ、加工水産物は上回ったものの、鮮魚、冷凍魚が下回ったことから、全体では4%下回った。 5月は、かつおやまだいが最盛期を迎え、安定した入荷が見込まれる。
(区分別の動向) 鮮 魚	4月の鮮魚は、入荷量、単価ともに、前年同月と比べ3%下回った。 品目別には、よこわ、さわらの入荷量は下回り、単価は上回った。かつお、さばの入荷量は上回り、単価は下回った。 5月は、4月に引き続き、天然まだいが順調に入荷する時期であり、価格も安定してくる見込みである。また、夏に向け、いわし、いさき等の入荷量も徐々に増加する見込みである。
冷 凍 魚	4月の冷凍魚の入荷量は、前年同月と比べ、13%下回り、単価は前年同月並みで推移した。 品目別には、冷さけ、冷ますの入荷量は下回ったが、単価は前年同月並みで推移した 5月は、東南アジア地域での養殖えびの出荷が本格化するため、入荷量も増加すると予想される。
加 工 水 産 物	4月の加工水産物の入荷量は、前年同月と比べて3%下回り、単価は7%上回った。 品目別には、塩紅さけ、開干あじの入荷量は下回り、単価は上回った。 5月は、ちりめんが漁の本格化により、安定した入荷量が見込まれる。この時期の高品質なものを是非召し上がって頂きたい。

※鮮 魚：鮮魚（貝類及び淡水魚含む）

※冷凍魚：冷凍魚（鯨肉を除く）

品 目	市 況 の 概 要
(鮮魚主要品目)	
ま あ じ	長崎，愛媛で水揚げされたものの入荷で，入荷量は前年同月と比べ6 %上回り，単価は4 %下回った。
ま い わ し	石川，鳥取で水揚げされたものの入荷で，日本海での好調な水揚げにより，入荷量は前年同月と比べ3 1 %上回ったが，単価高の中小型物主体の入荷であったことから，単価は1 7 %上回った。
さ ば	三重で水揚げされたものの入荷で，入荷量は前年同月と比べ，1 1 %上回り，単価は2 3 %下回った。
す る め い か	長崎，富山で水揚げされたものの入荷で，入荷量は前年同月と比べ1 2 8 %上回ったが，型の良い良品物の入荷が多かったことから，単価は1 9 %上回った。
太 物	入荷量は前年同月と比べ，きはだまぐろは7 %，めばちまぐろは6 %下回ったが，本まぐろは2 9 %上回ったため，太物類の総入荷量は5 %上回り，単価は3 %下回った。
び ん ち ょ う	鹿児島で水揚げされたものの入荷で，入荷量は前年同月と比べ1 6 %下回ったが，きはだまぐろの値下がりの影響を受け，単価は前年同月並みで推移した。
あ ま だ い	長崎で水揚げされたものの入荷で，入荷量は前年同月と比べ1 9 %上回り，価格は1 1 %下回った。

(冷凍魚主要品目) 冷 さ ば	入荷量は前年同月と比べ１１％下回ったが，小型主体の入荷から単価は，前年同月並みで推移した。
冷 す る め い か	入荷量は前年同月と比べ６１％下回ったが，生鮮するめいかが好調な水揚げにより入荷量が増えたことから，単価は３％下回った。
(加工水産物主要品目) ち り め ん	入荷量は前年同月と比べ４２％上回ったが，良品物が入荷が増加したことから，単価は４１％上回った。
塩 さ ば	入荷量，単価ともに前年同月並みで推移した。